

令和6年度

清瀬市平和祈念展等実行委員会

事業報告書

清瀬市平和祈念展等実行委員会

1 事業の概要

昭和 57（1982）年 9 月の清瀬市議会で「非核清瀬市宣言」が議決され、今年で 42 年目となりました。清瀬市では、昭和 61（1986）年度から実施してきた平和祈念展を平成 18（2006）年度より企画の段階から市民の参加を得ることにより、市民と市の協働による新たな平和祈念展とするため、市民公募委員で組織する清瀬市平和祈念展等実行委員会が設置され、企画が進められました。

令和 6（2024）年度の実行委員会では、これまでに開催した『平和祈念フェスタ in 清瀬』の企画等を参考に、実行委員会を開催し、平和祈念フェスタを開催できました。8 月では、広島・長崎の原爆をテーマに展示会を市役所 1 階とクリアビル 4 階（クリアギャラリー）の 2 か所で開催し、アミューホールでは朗読サークル「フレディ」による朗読とピース・エンジェルズによる広島派遣平和学習報告、弁護士の白神優理子氏の講演を開催しました。3 月には、東京大空襲関連の写真パネルや核兵器禁止条約関連などの展示会を市役所 1 階とクリアビル 4 階（クリアギャラリー）の 2 か所で開催し、アミューホールでは文化事業として、リラの会によるコカリナ演奏や朗読サークル「フレディ」による朗読、アメリカ生まれの詩人 アーサー・ビナード氏による講演を開催しました。また、会場にはピース・エンジェルズが作成したピース・メッセージを展示しました。

昨年度から引き続き不安定な社会情勢でしたが、清瀬市平和祈念展等実行委員会では講演会や展示会などの事業を通じ来場者のみなさんへ戦争の悲惨さ、平和の大切さ、人命の尊さを伝え、世界の恒久平和を次世代へ引き継ぐための活動を行いました。

『平和祈念フェスタ in 清瀬』の開催は、実行委員だけでなく、平和祈念フェスタでご出演いただいたみなさん、展示会に資料をお貸しいただいたみなさん、各会場に参加いただいた来場者のみなさんの平和希求への想いに支えられたものであることを報告します。

非核清瀬市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

我々は、世界で唯一の被爆国民として、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを、声を大にして全世界の人々に訴え、再び「広島」・「長崎」のあの惨禍を繰り返させてはならない。

我々は、非核三原則（造らず、持たず、持ち込ませず）が完全に守られることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍縮を求め、いかなる国の、いかなる核兵器も、わが清瀬市内に配備・貯蔵することはもとより、配備訓練、空中輸送、核部隊の通過も許さない。

我々は、核攻撃の目標となるおそれのある施設の撤去に努め、いかなる理由があろうとも、新たに設けることを認めず、疑わしき施設の実態把握と公表に努めることを宣言する。

昭和 57 年 9 月 29 日

清瀬市議会

THE NON-NUCLEAR DECLARATION OF KIYOSE CITY

Eternal world peace is a desire common to all mankind.

As the only nation who has been atom -bombed ,we must testify to the terror of the atomic bomb attack and the suffering of atomic bomb victims to the people all over the world in a loud voice, and we must not allow the terrible disasters in 'Hiroshima' and 'Nagasaki' to be repeated.

We wish for the complete observance of the three non-nuclear principles (not to manufacture, possess, or introduce nuclear weapons) , demand the abolition of nuclear weapons and the disarmament of all nuclear powers, and we will never allow the deployment, training or air transport of any nuclear weapons of any country, or passage of any nuclear unit, let alone their deployment and storage in Kiyose City.

We declare that we will endeavor to remove the facilities likely to be target of nuclear attack .And we will not allow such facilities to be built for any reason. Furthermore, we will investigate and make public the actual condition of the suspicious facilities.

September 29, 1982

Kiyose City Council

2 清瀬市平和祈念展等実行委員会の開催

第1回実行委員会	令和6年4月18日
第2回実行委員会	令和6年5月24日
第3回実行委員会	令和6年6月20日
第4回実行委員会	令和6年7月18日
第5回実行委員会	令和6年9月19日
第6回実行委員会	令和6年10月17日
第7回実行委員会	令和6年11月21日
第8回実行委員会	令和6年12月19日
第9回実行委員会	令和7年1月16日
第10回実行委員会	令和7年2月20日

3 令和6年度の活動

(1) 平和祈念フェスタ in 清瀬 (8月)

ア 展示会について

- (ア) 場 所 ①クレアギャラリー
②市役所市民交流スペース
- (イ) 日 程 ①令和6年8月2日(金)から15日(木)まで
②令和6年8月2日(金)から18日(日)まで
- (ウ) 内 容 ①有原誠治作「核兵器禁止条約が×にしたこと」
②パネル「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」
③パネル「清瀬と戦争」
④市議会「核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」
⑤パネル「大和田通信基地」
⑥その他

イ 講演会について

- (ア) 場 所 アミューホール
- (イ) 日 時 令和6年8月17日(土) 午後1時開場 午後1時30分開会
- (ウ) 内 容 ①朗読 朗読サークル フレディ「平和の詩」
②ピース・エンジェルズによる広島派遣平和学習報告
③講演
講師：弁護士 白神優理子(八王子合同法律事務所)
演題：「日本国憲法と平和」

④会場展示 「ピース・メッセージ」

⑤おりづるコースター募金

(2) 平和祈念フェスタ in 清瀬 (3月)

ア 展示会について

(ア) 場 所 ①クリアギャラリー

②市役所市民交流スペース

(イ) 日 程 ①令和7年2月28日(金)から3月9日(日)まで

②令和7年3月4日(火)から3月17日(月)まで

(ウ) 内 容 ①有原誠治作「核兵器禁止条約が×にしたこと」など

②パネル「東京大空襲」

③パネル「大和田通信」

④市議会「核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」

⑤パネル「清瀬と戦争」

⑥パネル「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」

⑦被団協 ノーベル平和賞受賞

⑧その他

イ 講演会について

(ア) 場 所 アミューホール

(イ) 日 時 令和7年3月15日(土)午後1時開場 午後1時30分開会

(ウ) 内 容 ①演奏 リラの会 コカリナ演奏 7曲演奏

②朗読 朗読サークル フレディ「さがしています」

(作：アーサー・ビナード)

③講演

講師：アーサー・ビナード(アメリカ生まれの詩人)

演題：「知らなかった、ぼくらの戦争」

④会場展示 「ピース・メッセージ」

「被団協 ノーベル平和賞受賞」

4 戦争体験者の録画について

令和6年度 野塩在住の守安氏の録画を検討していたが、撮影前にご本人が亡くなられてしまったため、録画できなかった。ただし、ご本人より当時の思い綴った作文をお預かりしていることから、これを紹介することを検討した。

5 決済

予算額	250,000 円
執行額	240,552 円
残額	9,448 円